

SIX BOX EXHIBITION

- 6つの視点から読み解く伝統工芸 -

SIX BOX EXHIBITION は、伝統工芸の分野で活躍する方の作品などを6つの箱を用いて展示し、丹南地域の伝統工芸産業の魅力を紹介する取り組みです。モノだけではなく技術や環境・職人の想いなど、ひとつの面だけではなく多面的に伝統工芸を知ることによって、立体的にその魅力が浮かび上がってきます。6つのテーマをもった箱の中の展示を、さまざまな角度から、ぜひじっくりとご覧ください。

1. 紙漉きの原料(楮・三椏・雁皮・麻)

楮(こうぞ)
太くて強く強靱な繊維です。

三椏(みつまた)
柔軟で細かく光沢のある繊維で、印刷適正に優れています。

雁皮(がんび)
細かくて短く、光沢のある繊維です。

麻(あさ)
強靱な繊維です。

2. 手漉き・機械抄き

五十嵐製紙では、伝統的な手漉きと機械抄きの両方漉いている工房です。それぞれの良さがありますが、やはり手漉きの肌触りは格別ですのでこの機会に手で触れ感じてください。柔らかく温かみのある手触りです。

3. 息子の自由研究

Food Paper の開発のきっかけになったのが息子の自由研究です。小学4年生から中学2年生までの5年間、身近な植物や食べ物から紙を作る研究をしていました。紙漉きだけではなく、強度や書き心地・吸水実験等いろんな実験成果をだしています。

4. これまで手掛けた試作品たち

これまでに沢山の試作品達です。カニは、カニの殻を乾燥さ粉末状にして和紙に漉きこみました。工房内がカニ臭でいっぱいになりました。また、ワカメの茎等様々な試作をしました。

5. Food Paper ノート・メッセージカード

野菜や果物の風合いが楽しめるB5サイズのノートと、名刺サイズのメッセージカードです。季節ごとのラインナップになっているので、プチギフトに最適です。メッセージカードも季節感を伝えたいありませんか？

6. Food Paper 小物入れ・サコッシュ

優しい印象を感じさせるフォルムが特徴の小物入れは、トレーのように鍵や時計・コインなどちょっとした小物整理に最適です。またサコッシュは、使い込むと風合いの経年変化が楽しめるサコッシュです。

五十嵐 匡美

Igarashi Masami

Food Paper
五十嵐製紙

越前和紙

大正八年創業の五十嵐製紙四代目。母でもあり、主婦でもあり伝統工芸士の紙漉き職人でもあります。季節感を大切にしながら紙漉きをしています。2020年次男の理科研究をもとに発売した Food Paper が大変好評を得ています。

